



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「あいさつっていいな」

## ★今回の道徳の授業のねらい

誰に対しても進んで、気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

あき子はたいへん明るい子供です。朝は家でも学校でも元気よくあいさつをしています。あき子が仲良しのかずみとけんかをしたときに、「ごめんなさい」という一言で仲直りできたことをきっかけに、お母さんの「あいさつは、小さなしんせつよ。」という言葉を実感し、さらに実践意欲を高めていくという内容です。

## ★子どもたちの授業のふりかえり

◎あいさつをしてよかったと思ったことはどんなことですか。

- ・ボランティアさんに「おはようございます。」と言って、気持ちがよくなりました。
- ・毎日、友達や知らない人にもあいさつを言いたいです。
- ・知らない人に「おはようございます。」と言うと、その人が返してくれて、今日勉強したことと一緒に気持ちがよくなりました。
- ・ボランティアさんにあいさつをしたら、笑顔で返してくれました。うれしかったです。
- ・わるいことをしてしまったら「ごめんなさい」と言って、ゆるしてもらえました。
- ・あいさつをしたら笑顔になってくれたので、あいさつをこれからもつづけていきたいです。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

あいさつは礼儀作法を守るだけでなく、人間関係をさわやかなものにしてくれる潤滑油のような役割も持っています。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」だけでなく、「ありがとう」「ごめんなさい」も、心と心を通じ合えるようなあいさつができること、時と場や状況に応じたあいさつができるようになることが大切です。

あいさつの習慣は、小さいころから、親が子供に範を示しながら根気強く続けることによって身につきます。ご家庭でもあいさつについての意味を話し合ってみてください。